

- 1 会議名 第2回公共施設再配置検討協議会
- 2 日時 令和元年9月20日(金)
午後3時25分から午後3時50分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 総務部長 山田日出雄、教育こども未来部長 長谷川忍、行政課長 佐野剛、同財政グループ長 酒井寿、同主任 酒井治、学校教育課長 石川文子、同学校教育グループ長 井手上豊彦
傍聴者 0名
- 6 事務局出席者 議会事務局主事 高山智史
- 7 会長あいさつ
- 8 報告事項

(1) 岩倉北小学校屋内運動場について
学校教育課長：資料に基づき説明。

【質疑】

大野議員：体育館の基本設計スケジュールのうち、保護者等の協議が12月から1月にかけてあるが、今の案で良いので、どのような意見を聞き協議するのか。

学校教育グループ長：各課から意見をいただき具体的な平面図を作っていくと思っている。そうして出来た平面プランについて、使いやすいのかを聞いていく。まだプランが出来ていないので、どんなことを聞くかは具体的なイメージができないが、意見を伺う際には、図面を提示してご意見をいただきたいと思っている。

大野議員：概要の平面図が出来上がったときは、議会に示されるか。

学校教育グループ長：保護者の皆様に説明する段階になれば、議会にも示して説明をする。

木村議員：プールの今後については、まだ方向性が決まっていないとのことだが、子どもや保護者の意見を聞きながら対応できる民間の業者がいるかわからないが、そういうことも含めて検討すると思うが、スケジュールには入っていないのか。

教育こども未来部長：委員会等でも説明したが、今年度中には一定示していかないと基本設計も出来ない。少なくとも来年度は、北小はプールを使う。その次の年は使えないので、一年は民間か他校を利用せざるを得ない。今年の東小の評価もしながら、どうしていくのか基本設計の間に決めないと、詳細に入っていけない。利用していない所に意見は聞きにくい、東小では聞き取りをし、また西春中学校でも始めているので状況を聞きながら進めていきたい。

大野議員：新しい体育館になったときに、市民の皆さんへの説明や周知の方法は検討されているか。意見を聞いたり、考え方の方向性はお示しできるか。

学校教育グループ長：現在その様なことは想定していないので、進めていく中で検討していきたい。

水野議員：現地測量ボーリング調査は終わったとのことだが、特記事項はなかったか。

学校教育グループ長：基本設計なのでまだ一本しかとってないが、支持地盤 8 m のところが出てきた。概ね予想通りの結果だと思っている。来年、詳細設計をする際には箇所を増やしてボーリング調査をし、基礎の形状等決めていきたい。

（２）公共施設点検について

行政課長：資料に基づき説明。資料 1 要綱。資料 2 スケジュールに沿って実施、不都合が出てくれば随時見直し。資料 3 施設管理者が日常的に点検する際の手引き。チェックシートに点検する部位ごとにチェックポイントを記載。建築士の資格を持つ職員同行のもとチェックする。不具合が出た場合は、不具合報告シートに写真を付けて行政課に報告する。不具合箇所を取りまとめ推進本部及び推進部会に諮る。これまで統一的な施設点検はあまり行っていないが、毎年点検し、長寿命化を図り、不具合が大きくなる前に修繕していきたい。

【質疑】

大野議員：施設点検することはいいことだが、尾北一級建築士の皆さんに 5 年に一回程度、専門的な見地で点検してもらった方が良いのではないか。それぐらいの点検の頻度が必要ではないか。

行政課長：検討していなかったが、まずは市内の建築士 5，6 名と一緒に今年度は実施したい

堀議員：これまでも実施計画や予算計上のために各担当課からは修繕箇所などを写真付きで、当時は企画財政課に提出していた。企画財政課は現場まで見に行き、その妥当性を確認して実施計画につなげてきた。今までもやってきたことをシートにして制度化したということだと思うが、推進本部の長は副市長だが、推進本部で認められた修繕箇所や報告は自動的に実施計画上で担保されるか。

行政課長：推進本部と推進部会の 2 つの組織で、まずは必要性を判断し、優先順位もあるが、実施計画へつなげる。担保というか、必ずそのまま行くわけではないが、実施計画へつなげていきたい。

木村議員：２つの組織ができたということで、３月の定例会議、また都度開催していただく情報はこの協議会にも流れてくるということでいいか。また、市民参加や、意見をもらわなくてはいけなくなった際に、施設の点検ではまずないと思うが、この二つの組織の動かし方はどの様になるか。

総務部長：ここで挙げている点検の仕方については、市民参加の類のものではないと認識している。今までは専門でない施設管理をそれぞれしていたのが、目ぞろいが出来て、予防保全的な対処ができるようになったと今回はご理解いただきたい。大きなものは大きなもので考えていきたい。

（３）その他

なし

１０ その他

なし